

「佐久総合病院再構築」に関する
アンケート調査
報告書

(平成25年11月6日～11月26日調査)

佐 久 市

I 調査の設計

1. 調査の目的

佐久医療センターは、紹介型の病院として「地域医療支援病院」を目指すことが約束されています。一方、佐久医療センターがその機能を十分に果たすためには、「医療機関の役割分担と連携」また、「患者である地域住民の理解と協力」が不可欠となります。

こうした中で、平成24年10月に佐久市医療体制等連絡懇話会と佐久市において、新たに構築される医療体制について、住民の理解度を調査しましたが、その結果は低い認知度であることがわかりました。

そこで、懇話会の構成機関において、それぞれ広報活動を行い、市においても「まちづくり講座」の開催や広報誌等を通じて周知を図ってきました。

本アンケートは、それらの広報活動の検証として行うとともに、その結果を基に今後の広報活動に繋げていくことを目的としています。

2. 調査の設計

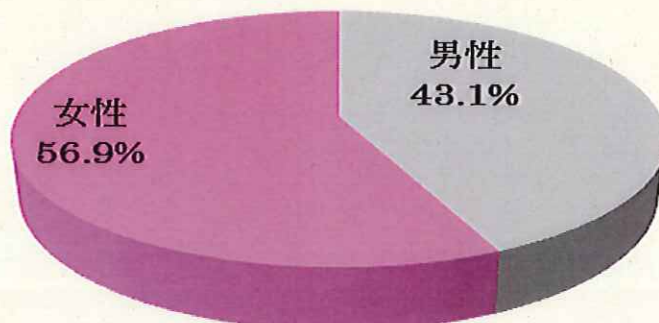
- 調査対象 市内に住所を有する16歳以上の男女1,000人。住民基本台帳から無作為抽出。
- 調査方法 郵送配布・回収
- 調査期間 平成25年11月6日～平成25年11月26日
- 調査項目 医療情勢に関する認識について
医療機関の役割分担について
佐久総合病院再構築について
その他意見等
- 有効回答 432人（回答率 43.2%）

<注>報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合があります。
無回答数は、入れないで計算しています。

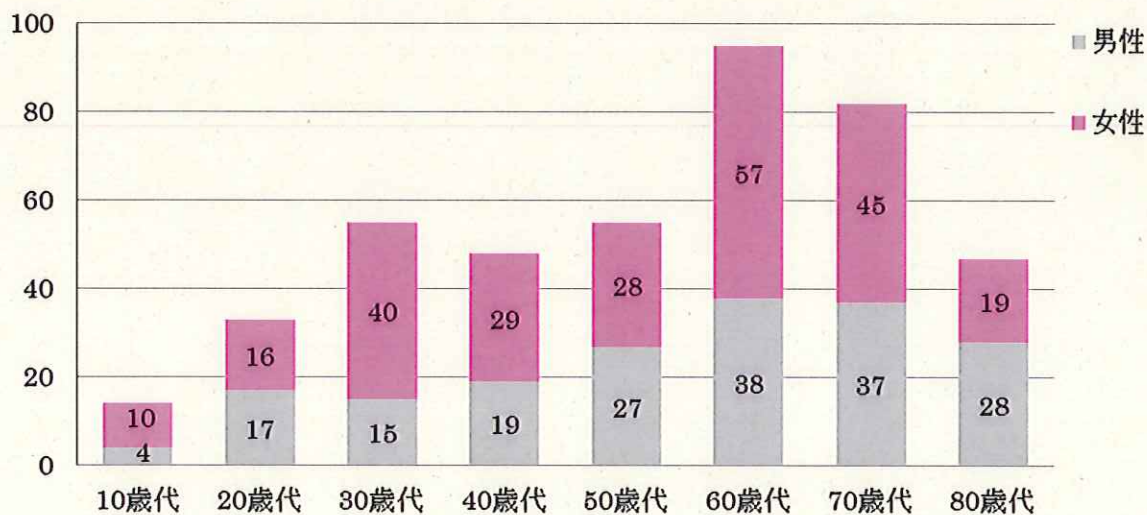
Ⅱ 調査結果

〈基本属性〉

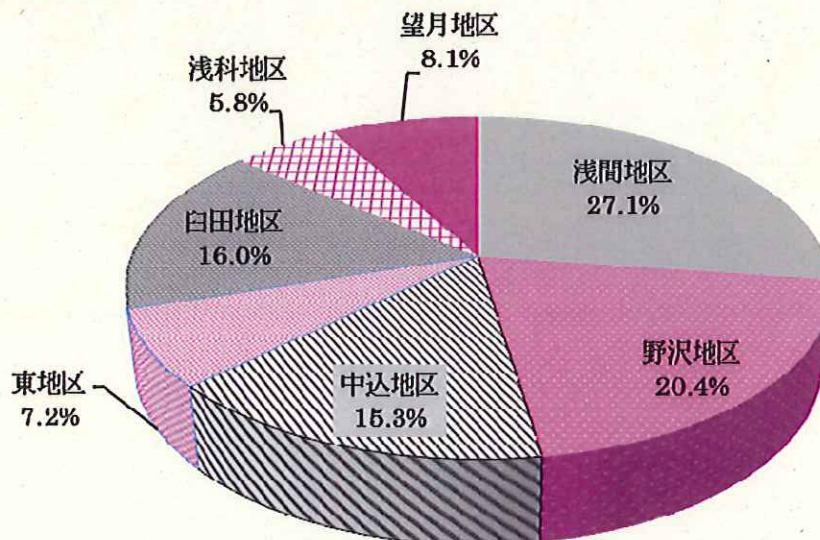
設問1. あなたの性別をお答えください。



設問2. あなたの年齢をお答えください。

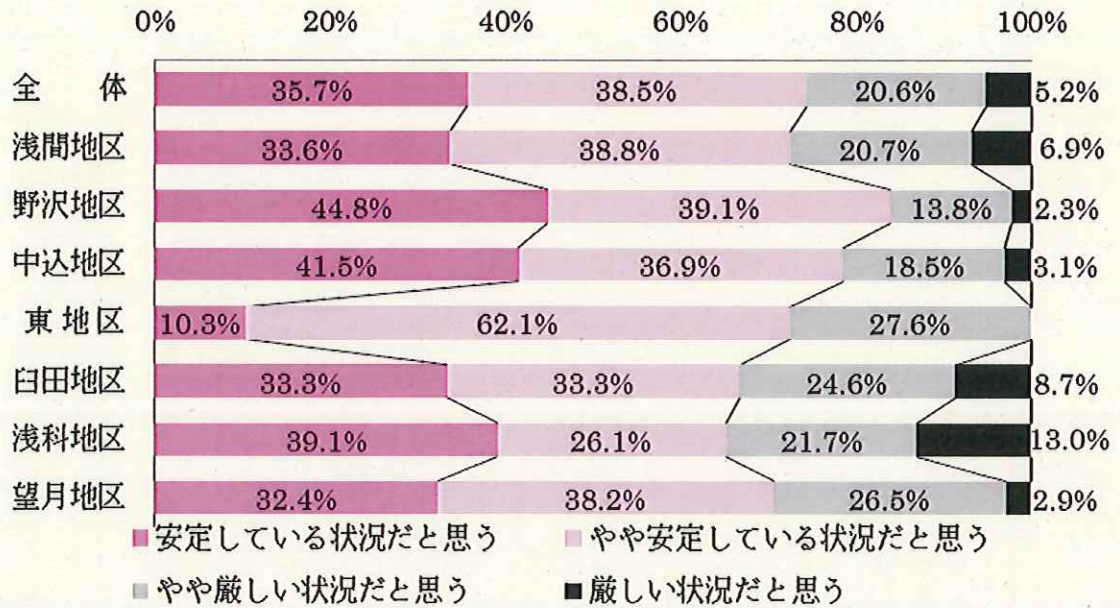


設問3. あなたのお住まいの地区をお答えください。



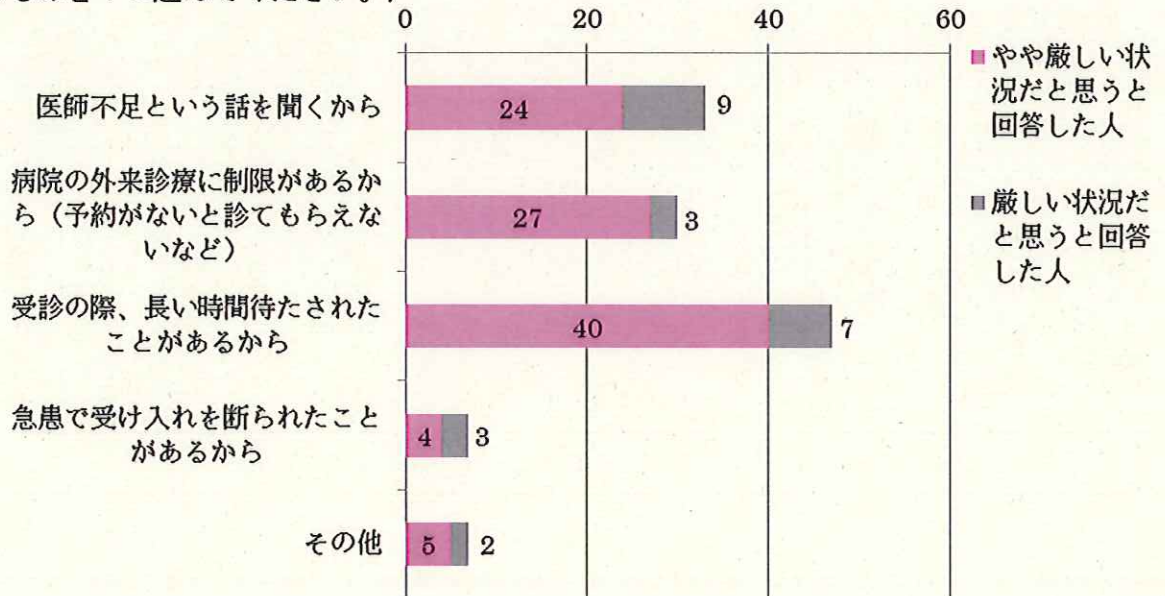
《医療情勢》

設問4. 佐久地域の医療状況を、どのように感じていますか。



佐久地域の医療状況については、「安定している状況だと思う」が35.7%、「やや安定している状況だと思う」が38.5%、合計で74.2%となりました。
 地区別でみると最も高かったのが、野沢地区83.9%、次いで中込地区78.4%でした。逆に最も低かったのが、浅科地区65.2%、次いで臼田地区66.6%という結果になりました。

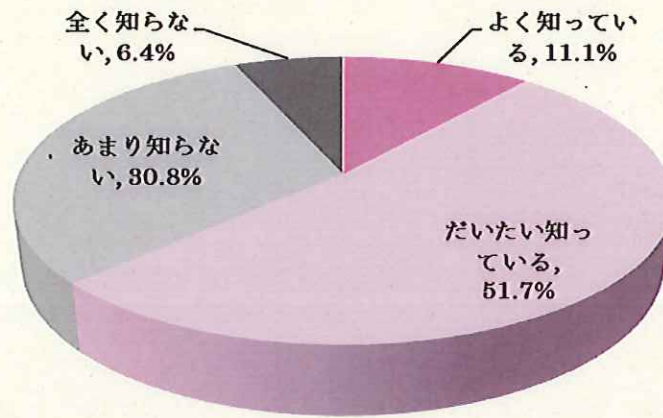
設問5. 設問4で「③ やや厳しい状況だと思う。」「④ 厳しい状況だと思う。」と回答された方に伺います。なぜ、医療情勢が厳しいと感じましたか。（最も当てはまると思われるものを1つ選んでください。）



佐久地域の医療情勢が厳しい状況だと感じる理由として、最も多かったのが「受診の際、長い時間待たされたことがあるから」が、延べ回答124名の内47名でした。次いで「医師不足という話を聞くから」が33名、「病院の外来診療に制限があるから」が30名と続きました。
 その他の意見としては、「お産に対する受け入れが限られている。」「予約をして受診しても科によっては、2時間近く待たされたことがある。」等でした。

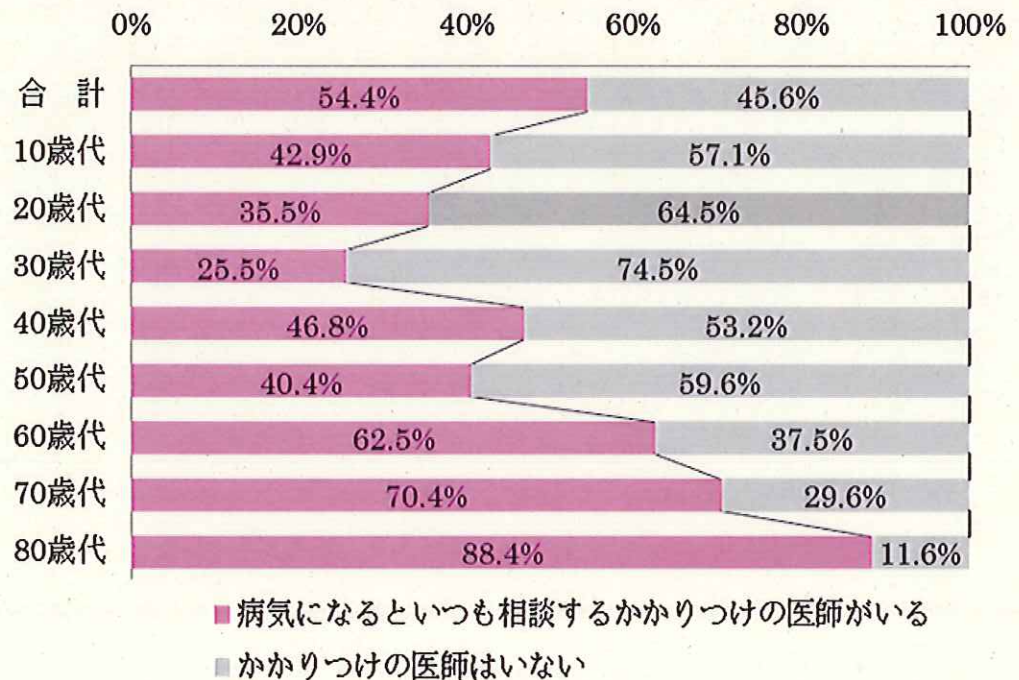
《医療機関の役割分担について》

設問6. 医療の高度化・専門化が進む中で医療の安定化を図るためには、医療機関は、明確な役割分担により医療提供を行い、患者さんも症状により医療機関を選んでいただくことが必要となってきますが、こうした状況にあることをご存知でしたか。



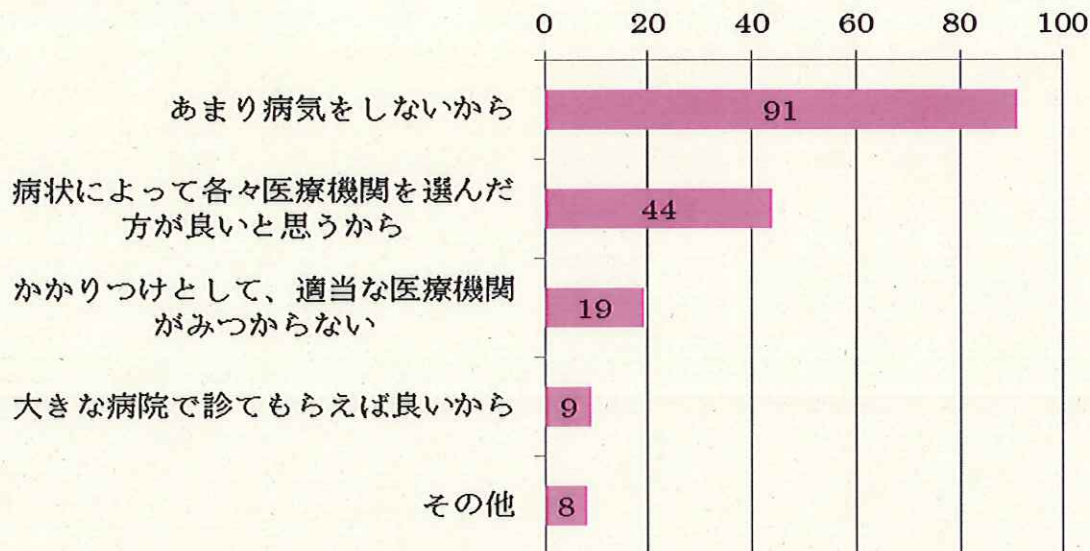
医療機関の役割分担や、患者は症状により医療機関を選ぶ必要があることについて、「よく知っている」が11.1%、「だいたい知っている」が51.7%、合計すると62.8%で6割以上の方が承知されている結果となりました。

設問7. あなたは現在、「かかりつけ医」をお持ちですか。



「かかりつけの医師はいない」と回答された方が45.6%と全体の約半数を占める結果となり、年代別でみると30歳代が74.5%と最も多く、続いて20歳代が64.5%でした。

設問8. 設問7で「② かかりつけの医師はいない。」と回答された方に伺います。かかりつけの医師がない理由について教えてください。（最も当てはまると思われるものを1つ選んでください。）



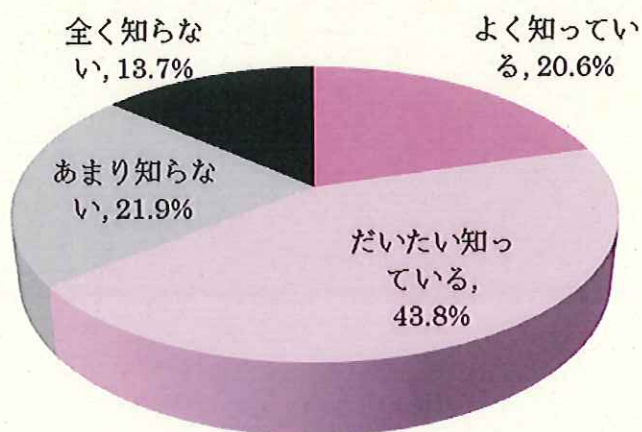
かかりつけの医師がない理由として、「あまり病気をしないから」が延べ回答 171 名の内 91 名と最も多く、次いで「病状によって各々医療機関を選んだ方が良いと思うから」が 44 名という結果になりました。

その他の意見では、「佐久市に転居して日が浅いから。」「まだ若いので大きな病気はなく、現在はかかりつけの必要性を感じないから。」等でした。

《佐久総合病院再構築》

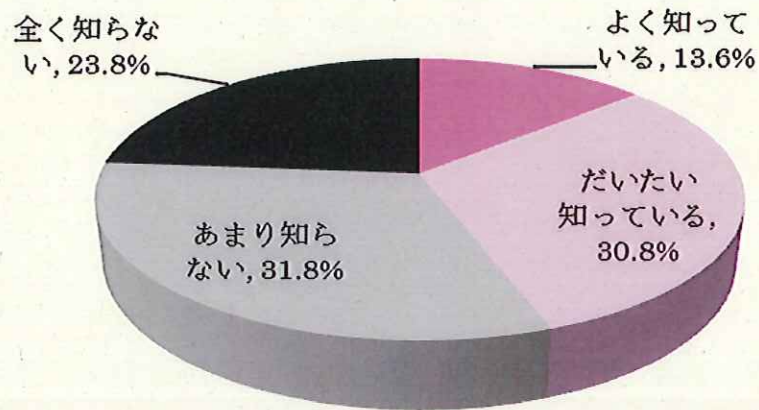
設問9. 佐久医療センターが「紹介型の病院」※ であることをご存知ですか。

※紹介型病院・・・一般的には難しい「診断」や「治療」を行い、地域の医療機関から紹介された患者さんに専門医が協力をして治療にあたる病院で、基本的に、救急以外は、紹介状をお持ちの患者さん等を中心に診療を行う病院。



佐久医療センターが「紹介型の病院」であることを「全く知らない」が 13.7%、「あまり知らない」が 21.9%、合計すると 35.6%で、約 4 割の方が、まだ承知されていない結果となりました。

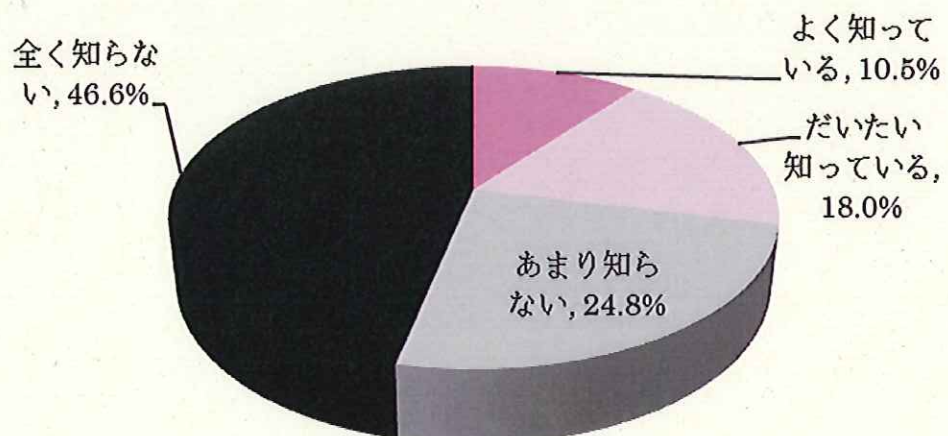
設問 10. 「佐久医療センター」に「紹介状を持たない患者さん」が来院された際には、「病状を見極めた上で、適切な医療機関を紹介される。」ことになりましたが、このことをご存知ですか。



「佐久医療センター」に「紹介状を持たない患者さん」が来院された際には、「病状を見極めた上で、適切な医療機関を紹介される。」ことを「全く知らない」が 23.8%、「あまり知らない」が 31.8%、合計すると 55.6%で、半数以上の方が承知されていない結果となりました。

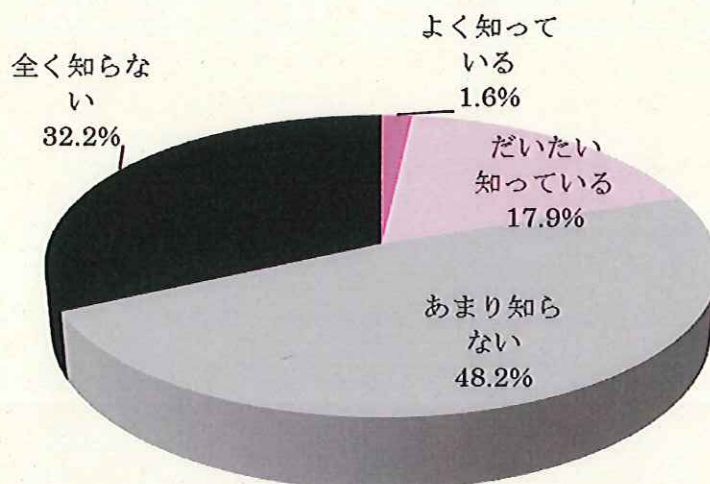
設問 11. 「かかりつけ医」からの紹介状を持たずに佐久医療センターを受診した場合は、「初診時保険外併用療養費」※ が別途加算されることをご存知でしたか。

※初診時保険外併用療養費・・・「初期の治療は地域の医院・診療所などで行い、高度・専門医療は大病院で行う」という、医療機関の機能分担の推進を目的に国が定めた制度で、200床以上の病院で紹介状を持たずに受診した初診の患者さんに対し、課すことのできる費用です。



「かかりつけ医」からの紹介状を持たずに佐久医療センターを受診した場合は、「初診時保険外併用療養費」が別途加算されることを「全く知らない」が 46.6%と約半数、「あまり知らない」が 24.8%、合計すると 71.4%であり、7割以上の方に知られていない結果となりました。

設問 12. 佐久総合病院は、平成26年3月1日より中込の「佐久医療センター」と臼田の「佐久総合病院（本院）」とに分かれて医療提供が行われることとなりますが、それぞれの病院では具体的にどのような診療が行われるか（どのような診療科があるか）ご存知ですか。



「佐久医療センター」と「佐久総合病院（本院）」での具体的な診療について「全く知らない」が32.2%、「あまり知らない」が48.2%、合計すると80.4%という結果となりました。

【まとめ】

平成24年10月に佐久市医療体制等連絡懇話会と佐久市において実施しましたアンケート調査と比較をすると、「佐久医療センターが紹介型の病院であること。（設問9）」について「全く知らない」または「あまり知らない」と回答された方の前回比は、20.9ポイントの減となり、まだ約4割の方が承知されていない中でも、その割合は少しずつ減少傾向にあることがわかりました。

また、「初診時保険外併用療養費（設問11）」や「佐久医療センターと佐久総合病院（本院）の診療科（設問12）」については、7割以上の方が承知をされていないということを確認し、今後もっと周知を図っていかねばいけない課題と考えております。